

事業番号	09 07 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業			部局	農政部	課・室	農村振興課
				実施期間	S42 ～	E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	③社会増減			⑥就業率			
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			2-5 地域に根差した産業の振興		5-1 多様性を尊重する共生社会づくり	

1 現状と課題

・農業者の高齢化が進行し、担い手不足が顕著となる中で、高齢農業者のリタイアを補い、本県農業の生産を維持するため、若い世代の就農希望者を長野県に呼び込み、新規就農者を育成し、次代の農業を支える若い担い手を確保する必要がある。

・農村集落コミュニティの継続を図るため、親元就農者・新規参入者・女性農業者などの多様な農業者を、地域の農業生産やコミュニティ活動の重要な役割を担うけん引役として育成する必要がある。

・定年帰農・田舎暮らしなど長野県で農業を行うことに魅力を感じる者が増加している。

2 事業目的

・県・市町村・JA・農業法人が一体となり、就農から定着までの就農促進活動により、意欲ある若い世代の新規就農者を確保・育成し、本県の農業生産を支える担い手の育成を目指す。

・参入者・女性農業者など多様な担い手の経営発展の支援を行い、地域農業を担う中核的経営体として育成し、農業・農村を牽引するリーダー育成を目指す。

・農業を志向する者等に対し、農業を学ぶ場の提供等を行い、農業・農村に多様な人材を呼び込み活性化を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①信州農業エグゼクティブMBA研修開講
・売上額10億円を目指し、経営発展を図るためのスキルを身につけ、エグゼクティブな経営者へ成長することを目的とした研修

②新規就農者育成総合対策の活用による就農者等の確保
・研修への支援、経営開始への支援及び雇用就農への支援

③農業分野の雇用人材を安定的に確保していく仕組みの構築
・外国人労働者の受入れ構築のための働き方改革の促進
・ハローワークと連携した求人×求職マッチング（ハローワークにおける個別相談会の開催）
・多様な雇用人材が就業、定着するための農家等の意識醸成

④経営体育成支援事業の実施
・経営規模拡大等を図るために必要な農業用機械等の導入を支援
・『総合的なT P P等関連大綱』に基づく国の補正予算に対応 ・事業実施主体は、市町村
・補助金は最大で、法人3,000万円、個人1,500万円。補助率は1/2以内（当初予算事業は、最大で1,000万円、補助率3/10以内）
・要望経営体数：45経営体（予定）

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ー：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	実績	実績	推移	推移			
①	新規就農者数(45歳未満)	人	173	181	↗	171	↘	250	未達成	第3期長野県食と農業農村振興計画の達成指標 農業生産の大宗を担う中核的経営体を確保・維持するために必要な経営体へと育成する「新規就農者数」を設定	
②	農業リーダーの認定者数	人	30	24	↘	31	↗	50	未達成	地域の農業農村のリーダーとして本県農業の推進役となっていたため、知事が認定する「農業士」「農業経営士」及び「農村生活マスター」の「認定数」を設定	
③	中核的経営体数	経営体	9,948	10,044	↗	10,061	↗	10,000	達成	第3期長野県食と農業農村振興計画の達成指標 農業生産の大宗を担い、維持するために必要な「中核的経営体数」を設定	
④	農ある暮らし体験研修・セミナーの受講者数	人	-	205	ー	287	↗	100	達成	定年帰農や田舎暮らし等、農ある暮らしに関する体験研修・セミナーの受講者数を設定	
⑤	就業マッチング成立件数	人	-	544	ー	520	↘	500	達成	求人農家と求職者の就業マッチングの「成立件数」を設定	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	269,556	1,303,269	△ 111,416	1,461,409	83,948	1,077,019	17.9
R3年度	101,375	1,155,771	△ 9,109	1,248,037	32,667	830,390	17.9
R2年度	3,463,492	1,086,126	1,102,074	5,651,692	1,301,018	5,123,174	17.9

事業番号	09 07 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業		部局	農政部	課・室	農村振興課

6 主な取組実績と成果

<p>①新規就農者数（45歳未満）の確保に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農相談活動に対する支援として、補助・委託先を（公社）長野県農業担い手育成基金とし、相談員を1名設置。 県内外において就農相談会を開催し、新規就農希望者へ県内の農業情報や、研修方法に係る説明など相談活動を実施。
<p>②農業リーダーの認定に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の営農やコミュニティ活動をけん引するリーダーを育成するため、農業リーダーの認定研修等の開催（農業経営士1回、農業士5回、農村生活マイスター5回）、認定会議の開催（農業経営士1回、農業士1回、農村生活マイスター1回）により、農業リーダーの育成を図った。
<p>③農ある暮らし体験研修・セミナー等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 農ある暮らしの相談対応（119件）、体験農園等セミナー27回、延べ348名が参加。農ある暮らしの実践に向けた支援や、農ある暮らしの魅力について情報を発信。
<p>④経営体育成支援事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 30市町村の61経営体に対し、栽培用施設の設置やコンバインなどの機械導入を支援し、生産力や出荷機能の向上による経営体の強化に取組んだ。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	新規就農者数(45歳未満)	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
R元年度からのコロナ禍における行動制限、対面での就農相談活動の抑制、短期の農業体験の受入が難しくなるなど、就農に向けた長期研修者の掘り起こしが難しい状況が続くとともに、全国的な雇用情勢の回復による影響等があり目標を下回った。							
指標②	農業リーダーの認定者数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
農業農村支援センターと連携し、リーダー候補者の掘り起こしや、認定研修会の開催によるリーダー育成を実施。認定数は、昨年比3割増となったが、目標到達までに至らなかった。							
指標③	中核的経営体数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
集落営農経営発展支援研修会等の開催や農業経営者総合サポート事業の実施により、経営力の向上を図ったところ、経営体数は10,061に増加し、目標を達成した。							
指標④	農ある暮らし体験研修・セミナーの受講者数	R3年度推移	—	R4年度推移	↗	達成状況	達成
R元年度に農ある暮らし相談センターを設置、相談活動やSNS等での情報発信などにより徐々に知名度が上がってきた。農ある暮らし志向者への専任アドバイザーによる農ある暮らし相談セミナーや農ある暮らし見学会の開催などに取り組んだ。							
指標⑤	就業マッチング成立件数	R3年度推移	—	R4年度推移	↘	達成状況	達成
ハローワークと連携したWEBによる個別相談会の開催など、コロナ禍でもできるマッチング活動を実施したことで、目標を達成した。							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における対面活動の抑制により、オンラインを活用した新規就農希望者への相談対応を新たに実施してきた。就農相談者のニーズに合わせ、今後も継続して対面、オンラインを組み合わせた相談活動に取り組んでいく必要がある。 コロナ禍における対面活動の抑制により、リーダー候補者の掘り起こしが難しい状況が続いた。今後、コロナ禍からの回復により、既認定会員による会からの推薦や支援センターによる個別訪問など、掘り起こし活動の活発化が必要である。
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍からの回復もあり、市町村、JA等と連携しながら、新規就農者の増加に向けて、対面やオンラインを組み合わせた就農相談会の開催により、担い手の確保・育成に取り組む。 農業リーダー研修会の開催、信州農業エグゼクティブMBA研修会の開催などにより、信州農業をけん引する人材の育成を継続して支援。 農大研修部に農ある暮らしガーデンを設置するとともに、熟練農業者や農ある暮らし実践者に「農ある暮らし地域サポーター」となっていただけ、農ある暮らし志向者への支援の充実を図る。

事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業	部局	農政部	課・室	農村振興課
-----	---------------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	農業リーダー育成事業	1,811 千円	2,476 千円	7,660 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業リーダー認定・研修	直接	地域の営農やコミュニティ活動をけん引するリーダーを育成するため、農業リーダーの認定・研修等の支援を実施 認定研修会の開催（計11回）、認定会議の開催（計3回）	
2	信州農業エグゼクティブMBA研修事業	直接	売上額10億円を目指し、経営発展を図るためのスキルを身につけ、エグゼクティブな経営者へ成長することを目的とした研修を実施 委託事業による高度な研修会の開催（6回）受講者10名、聴講生2名	
3	農作業セーフティアップ事業（農作業安全の啓発）	直接	農作業死亡事故の削減を図るため、事故割合の高い高齢者の安全指導強化や、リスク回避対策の指導を実施 農作業安全研修の開催（受講者28名）、啓発ポスター（2種）の作成・配布（各1,000部）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	就農サポート事業	745,502 千円	697,705 千円	654,305 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	新規就農サポート事業	直接 委託 補助金	県内外の就農希望者を呼び込むため、相談活動やウェブサイトの運営を支援（補助・委託先：（公社）長野県農業担い手育成基金） 相談会の開催計50回（オンライン32回、対面18回）、340名対応	
2	就農促進プロジェクト・体験研修支援事業	直接 補助金	就農希望者の円滑な就農・定着化を進めるため、市町村・J A・農業法人等が一体となり就農促進活動や、体験研修受け入れを支援（補助先：県農業経営者協会、県農業法人協会） 地域就農促進プロジェクト協議会等の開催（10か所）、農業研修生の受入78名	
3	新規就農者育成総合対策	補助金	就農に向けた研修資金、経営開始資金を交付 農業教育機関（研修機関）における農業教育の高度化、充実のための取組を支援（補助先：市町村、県農業大学校等） 就農前の研修生に対する資金交付57名、経営開始の新規就農者に対する資金交付423名	
4	農業の未来の担い手支援事業	直接	若年層に農業を職業として選択できる環境を整えるため、農業理解を促す農業の魅力発見セミナーや農業法人見学会などを実施 農業の魅力発見セミナーの開催8回、306名。緑の学園研修10名、8戸受入	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	農業大学校研修事業	17,625 千円	21,036 千円	20,552 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	就農支援・技術力向上支援	直接	就農希望者や参入者の就農を支援するため、農業の基礎知識や技術習得など多様なニーズに応える各種研修の実施 新規就農里親研修34名、新規就農里親前研修4名、就農体験研修6回延べ44名	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	NAGANO農業女子ステップアップ支援事業	666 千円	712 千円	747 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業女子のスキルアップ支援と情報発信	直接 補助金	農業女子の経営発展と農業の魅力発信を図るため、マルシェ等の販促活動、スキルアップセミナー、女性のための就農オンラインセミナー・相談会を実施 女性が働きやすい環境整備への支援 農業女子によるマルシェ活動13回、勉強会実施16回、支援団体7団体、助成額653,000円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	農ある暮らし応援事業	4,410 千円	7,031 千円	6,214 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農ある暮らし応援事業	直接	農業未経験者の就農・定着を図るため、発信力を強化するとともに、農ある暮らしの相談・体験・学びの機会の提供 農ある暮らし相談業務119件、体験農園等セミナー27回、延べ348名	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	農業トップランナー応援事業 （農業労働力の安定確保支援事業）	1,065 千円	4,867 千円	4,746 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	外国人労働者の受入れ体制の構築	補助金	・農業の働き方改革の推進（研修会の開催等） （補助先：JA長野県農業労働力支援センター） 外国人材雇用者向け研修会1回（109名参加）	
2	雇用人材の確保支援	直接 補助金	・ハローワーク等と連携した個別相談会の開催 ・農家等における新規学卒者採用体制の構築 農業インターンシップ2回、WEB相談会の開催6回	
3	農福連携の推進	直接 補助金 委託	・マッチングアプリの開発（補助先：JA長野県農業労働力支援センター） ・農業と福祉との新たな連携体制の構築（委託先：JA長野県農業労働力支援センター） ・農業農村支援センター等による地域体制の構築 農福連携推進研修会6回（延べ127名参加）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	経営体育成支援事業	4,352,095 千円	96,563 千円	382,795 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	経営体育成支援事業	補助金	・地域農業の担い手となる経営体を育成するため、経営規模拡大等を図るために必要な農業用機械等の導入を支援 （補助先：市町村） 30市町村（61経営体）を支援	